

平成 18 年 4 月 14 日

財団法人大阪国際交流センター
情報企画課長 谷口 悟郎
TEL : 06-6772-7023

第 5 回 日本－EU 文化交流シンポジウム 「絵本でふれるヨーロッパ ～そのことばと文化～」開催および参加者募集

(財)大阪国際交流センターでは、平成 18 年 5 月 21 日 (日)、同センターにおいて、『第 5 回日本－EU 文化交流シンポジウム「絵本でふれるヨーロッパ ～そのことばと文化～」』を開催します。

14 : 30～18 : 30 はシンポジウムを行い、EU 各国から作家や研究者など、絵本に関する専門家が一堂に会し、絵本をとりまく各国の事情を紹介するとともに、絵本を通じて知ることができる各国の文化や幼児教育、家族観の違いなどについて議論を展開します。また、幼児期から外国の絵本にふれることが異文化理解や外国語学習にとって有意義であるという観点からも議論を行い、日本と EU 各国のより一層の相互理解の促進を図ります。このシンポジウムの参加者 100 名を募集します (無料)。

シンポジウム開催前 13 : 00～14 : 00 は、画家が子どもと一緒に一つの大きな絵を作りあげるワークショップを開催し、参加者 10 名を募集します。そのほか、絵本の展示 (申込不要) など実施し、EU 各国の絵本に親しめる場も提供します。

記

- 日 時 : 平成 18 年 5 月 21 日 (日) 13 : 00～19 : 00
13 : 00～14 : 00 子どものためのお絵かきワークショップ
14 : 30～18 : 30 シンポジウム
13 : 00～19 : 00 各国絵本の展示
- 会 場 : 大阪国際交流センター 3 階「会議室 1・2」(ワークショップ)、「銀杏」(シンポジウム)、「銀杏」前スペース (絵本展示)
- テ ー マ : 『絵本でふれるヨーロッパ ～そのことばと文化～』
- パ ー ト ナ ー :
ベルギー トム・スコーンオーヘ (絵本画家)
フランス マリオン・ジャブロンスキー (児童文学編集者)
ドイツ ロートラウト・ズザンネ・ベルナー (絵本画家)
スペイン テレサ・ドウラン・アルメンゴル (児童文学研究家、作家)
イギリス ヘイミッシュ・バッキン (英語教授法専門家)
- モデレーター : 土居安子 (財団法人大阪国際児童文学館 主任専門員)
- 対象および定員 : (いずれも先着順)
■シンポジウム : 一般 100 名
■ワークショップ : 子ども (小学生対象) 10 名 *大人は見学可
- 使用言語 : 英語 / 日本語 (同時通訳あり)
- 参加費 : 無料
- 申込方法 : はがき、ファックス、Eメールのいずれかで、①シンポジウム・ワークショップの別、②郵便番号・住所、③氏名、④電話番号、⑤参加人数を

明記のうえ、申込先までお送りください。追って確認票をお送りします。

申込先： 大阪ドイツ文化センター 「日本-EU文化交流シンポジウム」係
〒531-6035 大阪市北区大淀中 1-1-88-3502 梅田効化ビル・タワー東 35F
TEL: 06-6440-5900 FAX: 06-6440-5901
E-mail: nishiumi@osaka.goethe.org

申込締切： 平成 18 年 5 月 16 日 (火)

主催： 日本-EU 文化交流シンポジウム実行委員会
(財) ベルギーフランドル交流センター、大阪日仏センター=アリアンス・フランセーズ、大阪ドイツ文化センター、日本・スペイン文化経済交流センター=エクステンション、関西カタルーニャセンター、ブリティッシュ・カウンシル大阪、(財) 大阪国際交流センター

問合せ

財団法人 大阪国際交流センター 情報企画課 「EUシンポ」係
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6
電話： 06-6773-8182 ファックス： 06-6773-8421
Eメール： kikaku@ih-osaka.or.jp

◆パネリストプロフィール

ベルギー

トム・スコーンオーヘ Tom Schoonooghe (絵本画家)

1973年モルツェル(アントワープ)生まれ。アントワープの聖ルカ美術学校でグラフィックとイラストレーションを修め、優秀な成績で1997年卒業。2001年最初の絵本“Houd de dief (どろぼうをつかまえろ!)”の挿絵で“Boekenpluim (本の羽根飾り)賞”を受賞。他に“Zahra (はばたけ! ザーラ)”の挿絵、自身で書き下ろした絵本“Tante Kou (寒さおばさん)”などがある。現在、挿絵画家として児童書や雑誌などで活躍するほか、テレビ番組や児童演劇の美術なども担当している。ほかに子どものためのワークショップ開催、美術館、学校、小児病棟の壁画デザインを手がけるなど、精力的に活動範囲を広げている。

フランス

マリオン・ジャブロンスキー Marion Jablonski (児童文学編集者)

1962年生まれ。ソルボンヌ大学にて中世史の専門研究課程を終了。1987年に出版社のアルバン・ミシェルに入社し美術書、写真集など、図版入り書籍の出版に携わる。1998年には、毎年約120の新刊を出版し、トータルで800以上の作品を出版しているアルバン・ミシエルの青少年部門の責任者となる。

ドイツ

ロートラウト・ズザンネ・ベルナー Rotraut Susanne Berner (絵本画家)

1948年ドイツ、シュトゥットガルトに生まれる。ミュンヘンでグラフィックを学び、現在はミュンヘンでフリーのアーティストとして活躍。現代ドイツの最も重要なイラストレーターの一人である。ドイツ児童文学賞ほか、多数受賞。著書は、フランス語、ノルウェー語、スウェーデン語、イタリア語、フィンランド語、スペイン語、日本語などに翻訳されている。

スペイン

テレサ・ドゥラン・アルメンゴル Teresa Durán i Armengol (児童文学研究家、作家)
作家、イラストレーターである傍ら、バルセロナ大学でも教鞭をとる。児童文学のアナリストでもあり、スペイン国内および国際的な賞での審査員でもある。100以上の作品を出版し、その多くが受賞作品。

イギリス

ヘイミッシュ・バッキン Hamish Buchan (英語教授法専門家)

ブリティッシュ・カウンシルの英語教育プロジェクト部長。

日本、ルーマニアなどで豊富な幼児英語教育の経験を持ち、現在は文部科学省や地方教育委員会と共に英語教育に関する数多くのプロジェクトを担当し、英語教師の指導にも携わる。グラスゴー大学(小学校教員学士号)、オックスフォード・ブルックス大学大学院(英語教授法修士号)卒。

日本／モデレーター

土居安子 Yasuko Doi

子どもの本の資料・情報・研究センターである財団法人大阪国際児童文学館に主任専門員として勤務。当館こども室を中心に、物語体験ワークショップを実践、研究中。また、国際交流担当として、アジア諸国の子どもの本の状況をシンポジウムや論文集、絵本貸出パックなどを通して、発信している。

◆日本—EU文化交流シンポジウムとは・・・

日本とEUの文化交流を促進することを目的に、平成14年度より大阪国際交流センターが在阪のEU各国文化機関と共催で開催しています。EU各国・各地域から専門家や研究者をパネリストに迎え、市民がEU各国の多彩で豊かな文化を一度に横断的に知る機会を提供します。

【開催実績】

平成14年度

第1回「この小さな星で共存していくために」

平成15年度

第2回「ヨーロッパDE日本のマンガ 大暴れ だそうです!!!」

平成16年度

第3回「多文化の彩り—社会における多様性の魅力」

平成17年度

第4回「Youth2Youth (ユース・トゥ・ユース) ～日本・EU 青年交流の強化に向けて～」